

| | |
|-----------|---|
| Title | 歯牙保護上ノ注意 |
| Author(s) | S.N.生 |
| Journal | 歯科醫學叢談, 2(5): 50-52 |
| URL | http://hdl.handle.net/10130/426 |
| Right | |

酸化亞鉛 十氏 格魯兒亞鉛 十四氏

グラチン 十亨 水 二亨

○ザロール樟腦

三十分ノ「ザロール」二十分ノ樟腦末ノ混和物ニシテ此混和物ニ亞兒箇保爾及水ヲ加フルコトナク全ク溶液トナル迄温メ之ヲ濾過シテ黄色ノ密閉瓶中ニ貯フ本品ハ無色ノ液體ニシテ之ニ觸ルレバ脂肪ノ如シ水ニ溶ケズ依的兒疇囉仿謨等ニハ溶解シ光線及空氣ニ觸ルレハ分解ス

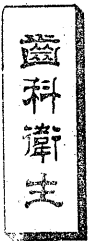
○防腐藥ブロモクロロ

ルムノ製法

明礬一キログラムニ沸騰二千五百グラムヲ加ヘ

テ溶解シ更ニ水二十五「リートル」ヲ加ヘテ稀薄シ後チ安母尼亞水ヲ加ヘテ充分沈澱セシメテ經過洗滌シ其沈澱ヲ密閉シ得ベキ瓶中ニ採リ之ニ貌羅謨三十一「グラム」及同量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタル鹽酸三十「グラム」トヲ加ヘテ溶解セシメ更ニ水ヲ加ヘテ全量ヲ四千五百「グラム」トナス

(以上三項志生抄録)



○齒牙保護上ノ注意

S. N. 生

吾人齒科醫ヲ以テ自ラ任ズ應ニ社會ニ對シテ疾病ノ豫防法ヲ講ズルノ義務ヲ帶ブ齒牙ノ直接間接ニ衛生ノ大綱ニ絡ルハ今更贅スルヲ須ヒス諸衆ノ既ニ首肯スル所ナル可シ既ニ緊要ナリ自ラ

其保護ニ遵フ可キノ責ハ亦離ル可ラズ故ニ茲ニ
日常確ニ行ヒ易ク而カモ大災ヲ未萌ニ摧クヲ得
ベキ要ヲ掲ケ餘白ヲ汚サント欲ス請フ咎ムルコ
勿ラバ幸甚

口腔ハ齒牙ノ含スル所清淨ナラサレバ病魔隙ニ
乘ゼン畢竟齒牙ノ疾患ハ全身消耗ノ端緒ニシテ
健康慄慄ノ勇夫モ遂ニ立タザルニ至ルノ例日ニ
吾人ノ見聞スル所ナリ齒牙清掃ノ器ハ種々アレ
凡先ツ思考ヲ要ス可キモノハ齒刷毛(楊子)トス
ナ齒刷毛ハ宜シク軟毛ヲ措テ寧ロ剛毛ヲ撰ム可
シ、軟毛モ殊ニ馬鬣ノ如キハ禁セザル可ラズ、世
人齒齦ノ薄弱ナルヲ以テ往々軟毛ヲ用フルハ誤
レリ若シ組織ノ薄弱ナルト雖凡頻回摩軋シ充血
ヲ惹起スレバ遂ニ強韌ナル齒齦ト化セラル、モ
ノタリ齒牙ノ内側ヲ磨擦セント欲セバ手柄ノ彎

曲セルモノヲ以テ使用ヲ便ナラシメ又門齒ノ清
淨ニ用フルニハ中央凹彎セル刷毛ヲ把ルベシ是
レ人ノ注意ノ到リ難キ犬齒白齒ノ部ニ達シテ能
ク其部ノ汚渣ヲ掘出シ齶齒ノ患ヲ除クヲ得ベケ
レバナリ又往々大白齒部ニ於テ頰面ノ清淨ヲ忘
ルコ勿レ又世人誤リテ六歲頃ニ生ズル齒牙(第
一白齒)ヲ乳齒トナン之ガ腐蝕ニ陥ルヲ拋棄シ
テ恬タルモノアリ是レ尤モ忽ニス可ラザル點ト
シテ小兒六歲ニ於テ生シタル白齒ハ則チ永久齒
ナリ」棒楊子ハ俗間濫用セラル、モ皆適宜ナル
形狀ヲ缺ク若シ之レヲ使用セント欲セバ一層細
小ニシテ銳尖ヲ具フルヲ良品トス材料亦一定セ
ザルモ銀性ヲ最良トス」磨齒粉ニ就テ所見ヲ述
ブレバ今時流行スル粉末ハ細微ノ度ヲ過ギテ寧
ロ効少シ磨軋ノ用ニ充ツルモノナレバ少シク粗

末ナルヲ(極端ヲ思フ勿レ)可トス殊ニ齒石沈澱ノ特異素因アルモノニハ然リ其構成ハ例セバ(余ハ之ヲ用フ)極メテ細末ニシタル輕石粉末二部、石鹼末一部、之ニ沈降石灰乳ヲ八分ノ比ヲ以テ加へ、石炭酸數密瓦ヲ滴シ全ク之ヲ混研シテ用フルハ可ナル處方ト信ズ、齒齲ノ非常ニ薄弱ナルモノハ常ニ收斂藥ヲ處ス可シ、タンニーチハ其効卓絶ナリト雖モ長持スレバ齒牙ノ變色ヲ來タスノ弊アリ寧ロ持久ニハ沒藥丁幾或ハ幾那丁幾ヲ撰用スベシ、又言フ可キ事アリ磨齒粉ニ色澤香氣ヲ賦與セントシテ世間ニテハ芳香製劑ヲ用フルモ余ハ之等ノ濫用ヲ恐ル、モノナリ別ニ必要ヲ見ザル以上ハ之ヲ禁ズルヲ要ス況ンヤ有害物スラ配合セラル、ノ例アルヲヤ慎ム可キ事ナラズヤ、家庭ニ於テハ父母タルモノ其兒童

ニ早歲ヨリ磨齒器ヲ授ケ毎朝之ヲ督シテ獎勵セザル可ラズ又學校等ニ於テハ(家庭ハ勿論)六ヶ月毎ニ齒牙ノ検査ヲ醫ニ托スルヲ則トスベシ是レ萬全策ニ近シ、拔齒ノ已ムヲ得ザル場合アリトセバ等側一致ヲ計ル可シ是レ後來咬合上又永久齒發生上ニ關係アレバナリ、是等ノ點ニ就テハ他日更ニ論ズル所アラントス

○齒牙ノ効用ニ就テ

山陰居士

抑モ造化主ハ吾人人體ニ無用ノ贅物ヲ與ヘス吾人ニ具フル處ノ物體盡ク一トシテ生活ニ必要ノ要具ニアラサルハナシ就中齒牙ハ人類ニハ第一生活ノ關門ニシテ第二調音ノ要具第三容貌ノ裝飾ナリ又他動物ニ在リテハ主ニ生活ノ要具ナルモ或ル一種ノ動物ハ生活ノ要具ナル外食物ノ攫取